

丸茂 新教授のご退職に際して

春の訪れとともに、今年もまた本学部で永年教育・研究に携わってこられた先生をお送りしなければならない時期となりました。

丸茂 新教授は2001年（平成13年）3月31日をもって本学を退職されることになりました。

教授は1957年（昭和32年）関西学院大学商学部を卒業され、その後1960年（昭和35年）関西学院大学大学院商学研究科修士課程を修了、同年4月に関西学院大学商学部助手として奉職されました。以来現在に至るまで実に41年間の長きにわたり商学部の教育、研究、行政活動に貢献をなさいました。

教授は恩師である故小泉貞三教授の後をつがれ、交通経済学の研究に取り組んでこられました。助手、専任講師時代にはフルブライト・スミスメント奨学生並びにブリティッシュカウンシル奨学生として米国及び英国に留学され、若き学徒として交通経済学を本格的に研究されました。その成果をもとにして出版された『鉄道運賃学説史』（1972年（昭和47年）、所書店）は学界で高く評価され日本交通学会賞を受賞され、また経済学博士の学位を授与されておられます。教授はその後も一貫して交通運賃の研究に取り組み、特に都市交通問題を理論経済学的、数理経済学的に研究されると共にこの問題の社会的、政治的な背景にも目を向けられ、都市交通問題解決にむけて様々な現実的政策提言を行ってこられました。教授のこのような理論・実証両側面にわたる均衡のとれた研究姿勢は、私達研究

者が永く模範とすべきものであると思います。

周知のように、丸茂教授は温厚誠実なお人柄であり、学内においても大変厚い人望をえておられます。学内において学長補佐（1986年～1988年（昭和61年～63年）、商学部長（1988年～1990年（昭和63年～平成2年）、総合体育館長（1991年～1992年（平成3年～4年）、大学副学長（1992年～1994年（平成4年～6年）、大学図書館長（1998年～2001年（平成10年～13年）等を務められ、商学部及び関西学院大学に大きな貢献をなさいました。

丸茂教授のご退職にあたり、永年にわたる商学部ならびに関西学院大学の教育、研究、行政に対する多大のご貢献を称え、ここに記念論文集を刊行し、深い感謝の念とともに捧げることができますのは私達の大きな喜びであります。先生の今後益々のご健勝と教育・研究者としてのご活躍を心からお祈り申し上げます。

終わりにあたり、この記念論文集の刊行に際してご執筆いただいた先生方、また編集にご努力いただいた商学論究編集委員会の先生方に厚く御礼申し上げます。

2001年3月

商学部長 杉原 左右一